

山陰合同銀行の森林保全活動について



平成22年3月15日

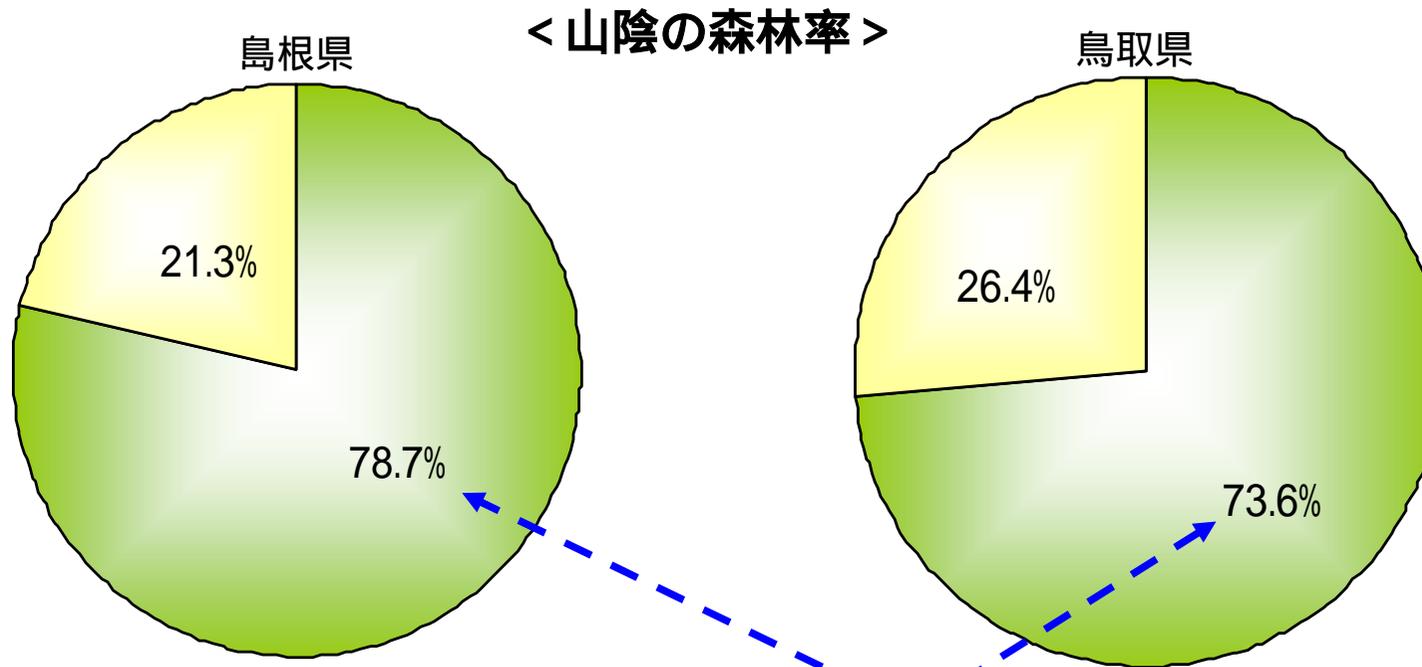
山陰合同銀行 頭取 古瀬 誠

SAN-IN GODO BANK

1. 私たちの森林への想い

山陰における森林の重要性

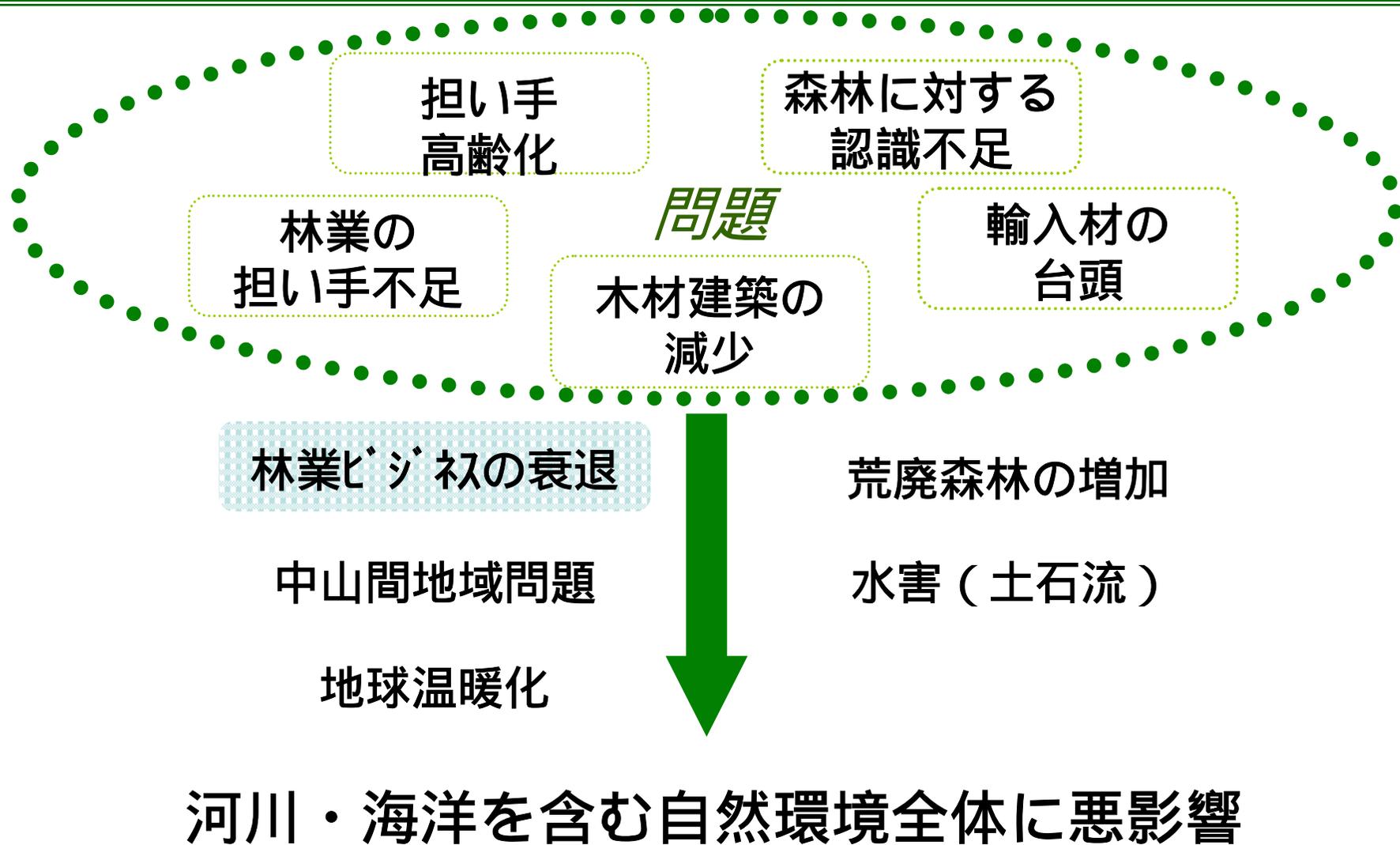
- 山陰は、山と海そして湖といった豊かな自然に囲まれる、とても恵まれた環境です。
- 山陰は県土の約3分の2を森林が占める全国有数の森林県です。



	国土面積	森林面積	森林率	全国順位
島根県	670.7	527.6	78.7	第3位
鳥取県	350.7	258.0	73.6	第13位
全国平均	37,284.4	25,121.0	67.4	

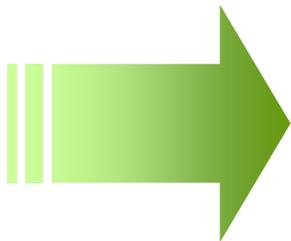
(資料: 林野庁、平成14年3月末現在)

山陰の森林を取り巻く環境



私たちの想い

- 「ふるさとの森を守る」こと、それは「ふるさとを愛する」ということ。
- 自立。
「自分たちのふるさと」は自分たちで守る。
- 大切なこと、それは、「まず、やってみる」ということ。
自分たちのできることを、できる範囲で。



CSRとしての森林保全活動が開始

私たちの**森****を****守****ろ****う****！**の取り組み

- ① NPO法人やボランティア団体の皆さんと一緒に活動し、県民のみなさんへ森の大切さを知っていただく。
- ② ごうぎんの役職員自身が実際に森林で汗をながし、森づくりに賛同する企業の輪を地域に広げる。
- ③ 地方銀行の機能を活かした取り組みを川下(地方)から展開し、地方銀行の仲間とともに全国運動に広げる。

2.森林で活動するみなさんとともに、
私たちの想いを伝える

どう活動したらよいか？

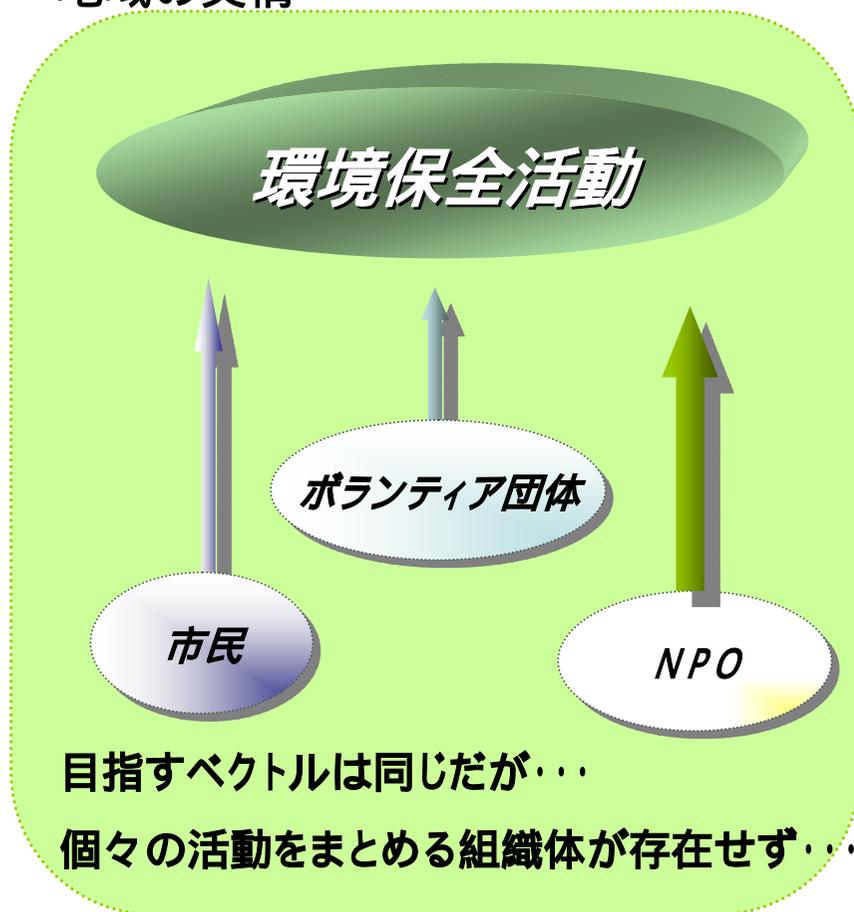
私たちは林業・森林については素人だった・・・

思案

- ✿ 既に環境保護活動をしているNPO法人やボランティア団体とネットワークができないか？
- ✿ 皆さんと一緒に、広く、森林の大切さを多くの県民に知っていただく活動ができないか？
- ✿ ボランティア団体がまとまれば大きな“うねり”となるのではないか？

私たちの試み その1 「ネットワーク」

地域の実情



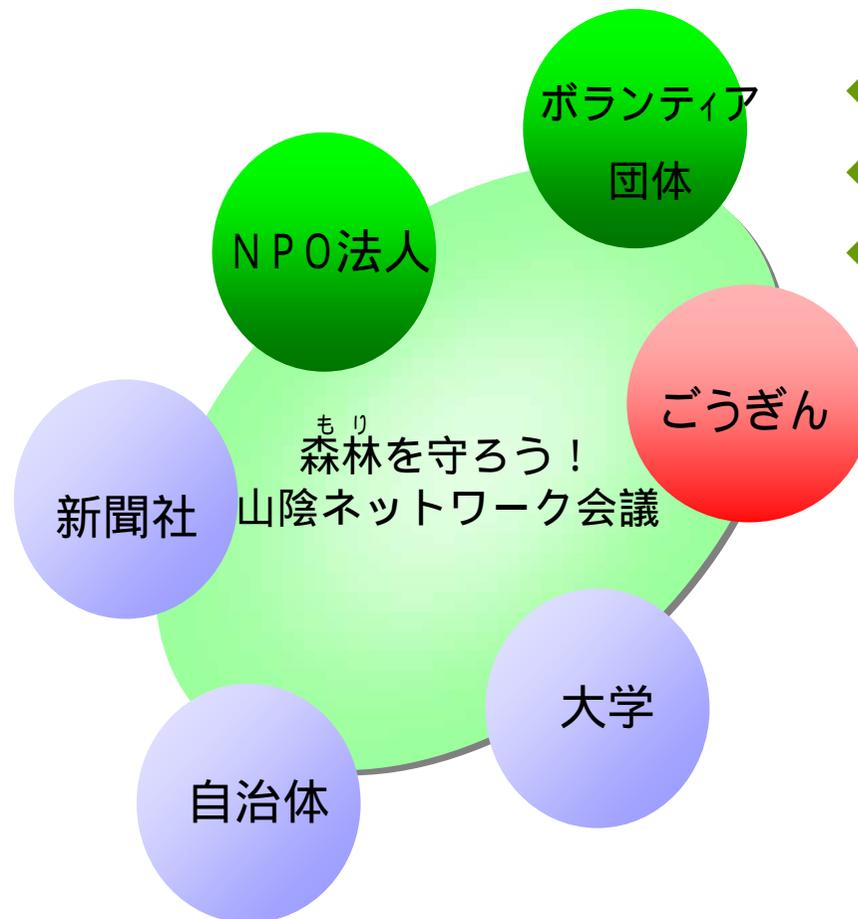
ネットワーク化



もり 森林を守ろう！山陰ネットワーク会議 設立

山陰の森林保全ボランティア団体をネットワークする初の試み

2006年4月21日設立

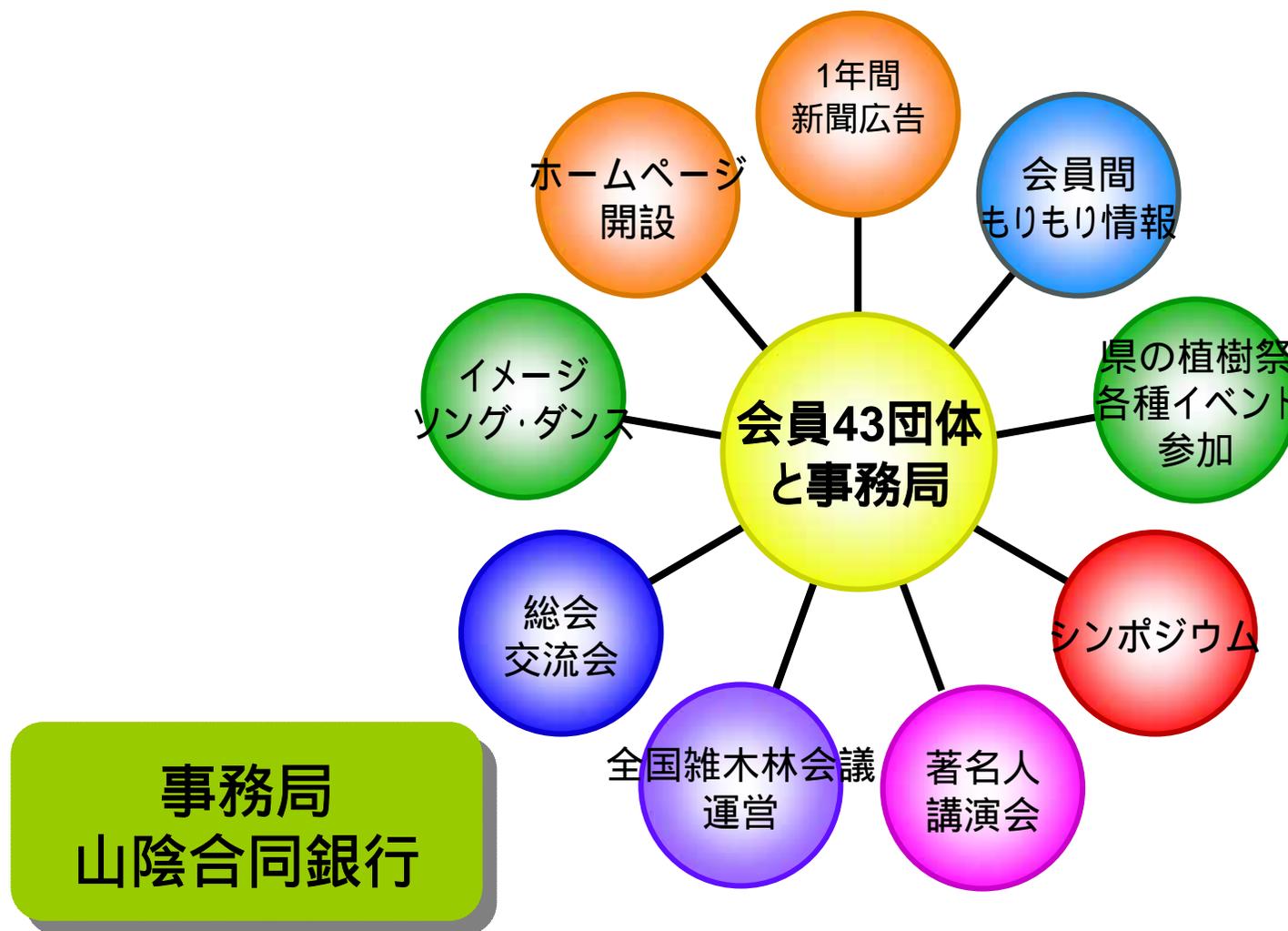


- ◆会員：NPO法人・ボランティア団体(18団体)
- ◆オブザーバー：自治体担当課、大学、新聞社(7団体)
- ◆事務局：山陰合同銀行 地域振興部



も り

森林を守ろう！山陰ネットワーク会議の主な取り組み



総会・交流会の開催

開催日 平成20年4月13日

参加者 157名



環境講演会 『サンゴ礁からの恩恵』

女優 田中律子

開催日 平成21年4月5日

参加者 105名



会員の活動事例発表

各地分科会での議論

会員の様々な活動に刺激を受け、自分たちの活動に反映



鳥取・米子・大田

2006年11月

会員同士が協力して森林保全活動をPR

島根県



「森の誕生日祭」inふるさと森林公園
県民参加のイベントに毎年参加



第15回全国雑木林会議石見銀山大会

実行委員会メンバーとして運営に参加

2007年10月6日(土)・7日(日)

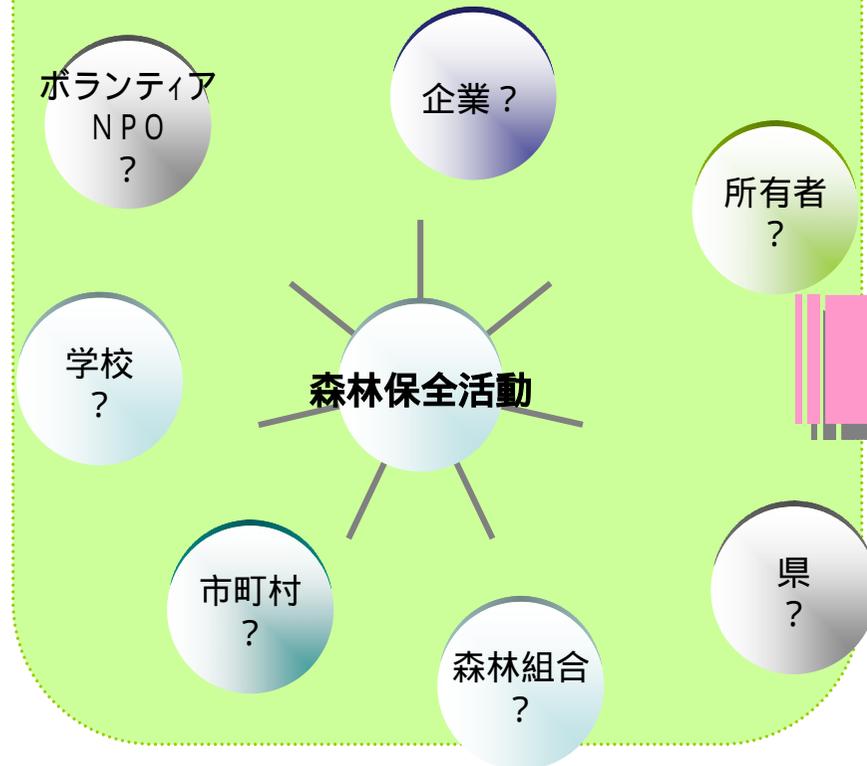
全国から約500人が参加。世界遺産を守る森づくりや雑木林の魅力や利用方法を学び、様々な立場の人と交流を深めました。多くのネットワーク会議会員が協力しお互いの関係が深くなりました。



私たちの試み その2 「啓発」

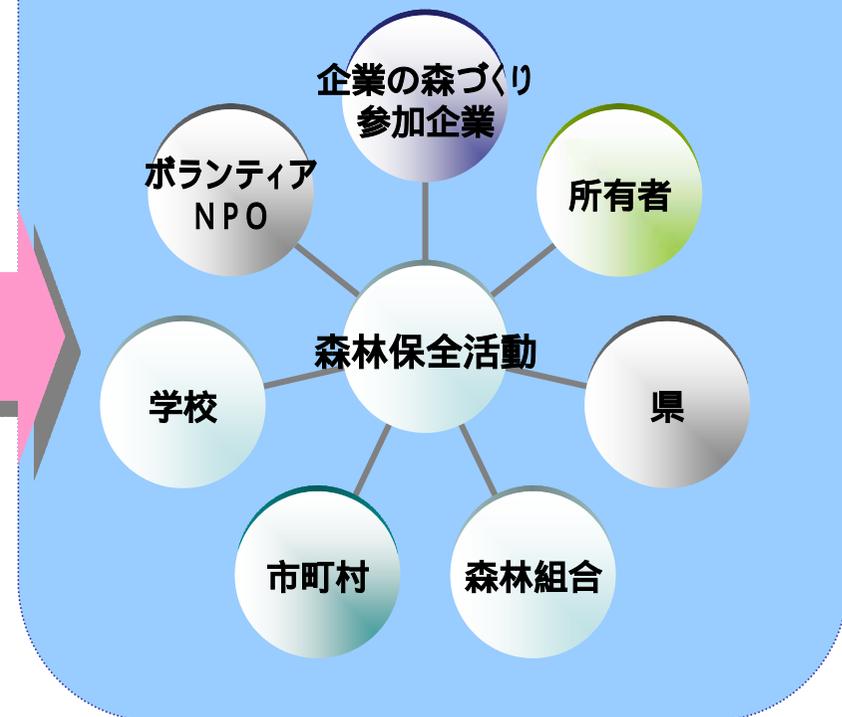
地域の実情

森林保全は誰が行なっているのか？



啓発活動

現状を幅広く認知してほしい。
みんなが協力して取り組む課題。



新聞での啓発活動

◆日本海新聞、山陰中央新報に企画特集
1年間(2006年度:22回)連載。県民の皆様に
森林の大切さを訴えました。全15段×22回



森をもっと大切にすることが、心を豊かにします。

私たちは、これからも地域の森を守り続けていきます。

みんなの森を守ろう!

森林を守る! 山陰ネットワーク会議 参加団体のみなさん
(2006年度) 19団体(2007年度) 24団体

<p>高梁市 (10団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> 林野法人 高梁市林業株式会社 林野法人 山陰中央森林組合 任意制で参加 (1団体) 高梁市市民の森づくり推進委員会 高梁市森林組合 高梁市環境委員会 高梁市環境教育推進委員会 高梁市環境教育推進委員会 高梁市環境教育推進委員会 高梁市環境教育推進委員会 	<p>高梁市 (10団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> 林野法人 山陰中央森林組合 林野法人 山陰中央森林組合 任意制で参加 (1団体) 高梁市市民の森づくり推進委員会 高梁市森林組合 高梁市環境委員会 高梁市環境教育推進委員会 高梁市環境教育推進委員会 高梁市環境教育推進委員会 高梁市環境教育推進委員会 	<p>特別協賛</p> <ul style="list-style-type: none"> 山陰中央森林組合 高梁市森林組合 <p>特別協力</p> <ul style="list-style-type: none"> 高梁市環境委員会 高梁市環境教育推進委員会
--	---	--

山陰合同銀行 地域振興部内
高梁支店〒683-0803 高梁市 電話 082-55-1120

山陰ネットワーク会議
<http://www.mori-sanin-net.jp>

ホームページによる情報発信

ネットワーク会議や会員の活動状況を県民や全国の皆様に情報発信しています



2006.11.1 OPEN

テレビCMの展開



森林やふるさとの自然の大切さを地域の人々に訴える“みんなのチカラ”を放映しております。

山陰中央テレビ放送
山陰放送
日本海テレビ放送

2010年1月～2010年3月



↑
荒廃が進む森林をテーマとしたテレビコマーシャル“森が泣いている”を放映しました。

山陰中央テレビ放送
山陰放送
日本海テレビ放送

2006年7月～2007年4月



森を守ろう！イメージダンス～「楽しく」「共感」～



2008年11月2日

“森林のめぐみ感謝祭”in淀江町

森を守ろう！エヴァーグリーンのダンス演技
を行う、淀江小学校5年生児童と先生



2009年4月29日

“2009森の誕生日”in宍道町

ダンス演技を行なった、宍道小学校
4年生児童と先生

各地の支店が地域イベントに参加し、 「みんなで森を守ろう！」をPRしています。(1)

江の川レガッタ大会 ～浜田・浜田東・江津支店～



各地の支店が地域イベントに参加し、 「みんなで森を守ろう！」をPRしています。(2)

憧れの広島市民球場で“森を守ろう！”PR ～広島支店～



各地の支店が地域イベントに参加し、 「みんなで森を守ろう！」をPRしています。(3)

銀行ロビーに県産材オリジナル椅子を設置 ~ 皆生通支店 ~



“森を守ろう！”のメッセージ発信



“森をまもる”ことは地域を愛すること。ガイナレ鳥取を山陰のJリーグクラブに育てることは地域を育てること。ユニフォームに“森を守ろう”のメッセージロゴを採用し、森林保全活動を全国にアピールしてもらいました。
(2006年～2009年)

木
みんながキーパー！
木木をまもろう



山陰合同銀行

全国の大会において“森をまもろう！”PR

「山陰合同銀行バドミントン部」のユニフォームにメッセージロゴを採用し、全国の大会において情報発信を行っています。

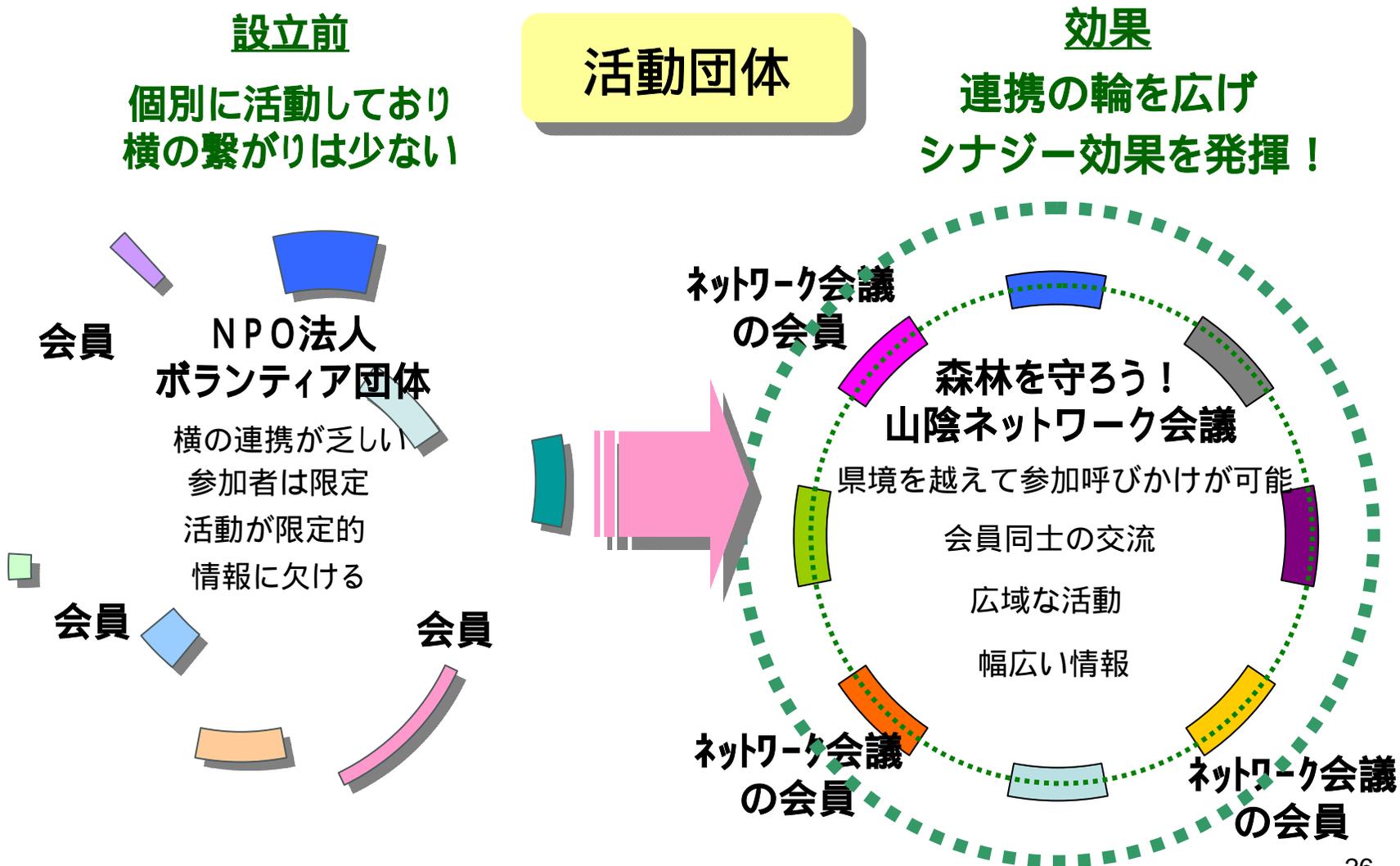


森林保全シンポジウム開催 2007年2月17日(土)

- 「不都合な真実」主演アル・ゴア氏の全国封切り前の上映を実施
- 日本人初の宇宙飛行士・秋山豊寛氏をコーディネーターとしたパネルディスカッション
- 金融の視点から環境問題に取り組むマーク・ミルズ氏の講演



ネットワーク設立の効果



平成21年度 活動の基本方針

- (1) 会員と会員・オブザーバーの連携を強化し、絆を深める。
- (2) 会員の活動を県民・地域に広く広報し、市民のボランティア活動参加への醸成を図る。
- (3) 結成4年目を迎え、継続を大きな力に、ユニークな活動を実施する。

もり
森林を守ろう！山陰ネットワーク会議会員のご紹介



(抜粋:20団体)

島根県

NPO法人 もりふれ倶楽部(松江市)



事務局長が森林を守ろう！山陰ネットワーク会議の島根ブロック代表。「森とのふれあいを推進する」意味をこめて結成。島根県森林インストラクター60名を中心に様々な自然塾を開催。

里山を育てる会(松江市)



田和山遺跡に隣接する森が荒廃していたのを有志で整備保全し、「田和山史跡公園・自然学習の森ゾーン」と呼ばれるまでに再生。

会では市民の憩いの場、子ども達の学びの里山となるよう活動を展開している。

出雲西高等学校インターアクトクラブ(出雲市)



高校のボランティアクラブですが環境問題にも取り組み、河川の清掃、宍道湖浄化活動、海岸清掃などに取り組んでいる。

出雲市林業振興協議会(出雲市)



林業家や森林所有者を中心に設立。

出雲地区で、枝打ち、間伐等の作業の他、ネットワークを駆使して県内各地で森づくり活動を行っている。

NPO法人 緑と水の連絡会議(大田市)



里地・里山の景観保全・三瓶山の野焼き・石見銀山の荒廃竹林整備等多様な活動を展開している。2008年「朝日新聞“明日への環境賞”」を受賞。

理想の山里づくり実行委員会(川本町)



邑智郡の豊かな資源を活用した「遊び心の拠点づくり」を目標に、水車・石釜・炭焼き・椎茸栽培等、楽しく汗をかきながら、充実した活動をしている。

江の川を考える会(江津市)



江の川にはぐくまれ育った仲間が、江の川について学び、川との共生を考え、恵まれた資源の活用を地域に提案する活動を行なっている。

財団法人 島根県西部山村振興財団(浜田市)



山村の豊かな資源を活用して新たな産業を創造し、産業振興と地域社会の発展に寄与することを目的に設立し、森林の循環モデル型の取り組みを行なっている。

NPO法人 アンダンテ21(益田市)



益田市でますだ圏域まちづくりグループとしてスタート。「清流高津川」を軸として活動を展開。

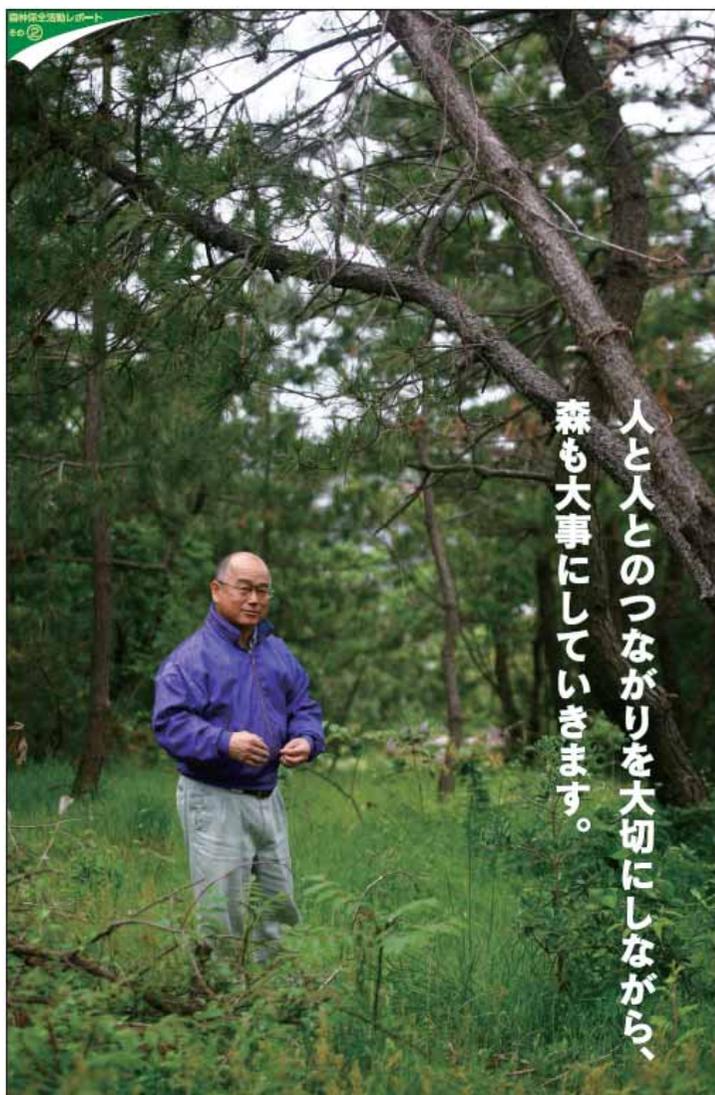
NPO法人 エコビレッジかきのきむら(吉賀町)



自然環境と文化や歴史を守りながら、地域資源を活かした、新たな産業の創出や、それを担う次世代の育成を行い、人と自然が共生できる社会の実現を目指している。

鳥取県

NPO法人 賀露おやじの会(鳥取市)



理事長が森林を守ろう！山陰ネットワーク会議鳥取代表のNPO法人。

地域のおやじ達が全国のおやじ達と交流を深め、ともにより良い地域や自然環境を守っていくことを目的に活動。

広葉樹文化協会(鳥取市)



古来、日本人の生活、文化に深く影響をしてきた広葉樹林(雑木林、里山)の復権、再生保全を目的とした活動。

鳥取市女性の森グループ(鳥取市)



鳥取市で先駆的な女性
ボランティアグループ。
3,000人の会員を有し、
緑の募金活動を拡大。

おんな山師集団(智頭町)



木を刈らないことにより
森林破壊が進んでいる
現状を知り立ち上がる。
鳥取大学の学生、教授
等のサポートを得て、山
の手入れや山での生き
る知恵を学んでいる。

讚郷愛林協会(倉吉市)



放置された碎石跡地を自然に返し、天神川の水を守る趣旨で広葉樹700本を植樹。木を育てるだけでなく、木を使うことが山を守ることから、木を実践的に利用することにも取り組んでいる。



三朝温泉かじか蛙保存研究会(三朝町)



かじか蛙を通してふるさとを考えようと「かじか蛙サミット」を開催。かじか蛙が生息できる清流を守るため、三徳川源流域に毎年植樹を続けている。

鳥取県木造住宅推進協議会西部支部(米子市)



建築を学んでいる米子工業高等専門学校建築学科3年生が森林の整備実施体験をし、将来的に木造住宅建築など、木材利用による森林整備を支える人材の輩出を目指している。

大山横手道上ブナを育成する会(米子市)



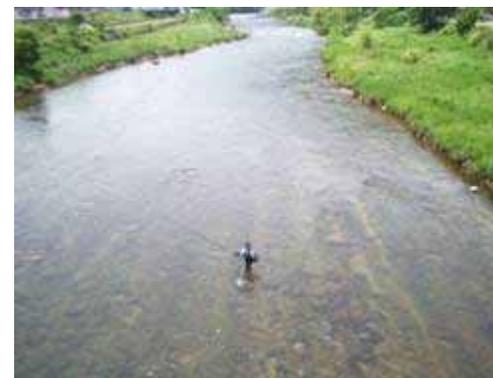
農場でブナの苗を育て、大山横手道上の国有林で植樹活動をしている。ブナを中心とした豊かな大山の森の再生を目的としている。

丸山生産森林組合(伯耆町)



約80haの集落所有林を計画的に造林・保有することを第一に設立。森づくり教育にも積極的で、地元の小中学生による森林保全活動にも積極的に取り組んでいる。

日野川の源流と流域を守る会(日野町)



源流と流域の自然を守り、日野川を日本一美しい川にするために設立。
鳥取県西部(米子市・西伯郡・日野郡)を中心に約1,000人の会員が活動。

3. 私たちにできることから実践する ～森へ入ろう～

「とっとり共生の森」育成支援事業へ参画

2006年8月28日



行政が推進する森林保全事業に積極的に参画し、「ごうぎん希望の森」をお借りする10年間、私たちにできる活動を通じて、“自然を尊び、ふるさとの自然を守る”という思いを役職員ボランティアの手によって引き継ぎ、広げていきます。

「しまね企業参加の森づくり」制度へ参画

2006年11月29日



島根県の推進する森林保全事業にも参画。当行の森を守る取り組みに賛同する企業の参加により、2009年12月31日現在の段階で「しまね企業参加の森づくり」の参画企業は6社、また「とっとり共生の森」の参画企業は14社にまで拡大しています。

「ごうぎん希望の森・智頭」



鳥取県八頭郡智頭町駒帰 地内 (2.8ha)

鳥取県東部を流れる千代川の源流に位置しており、周辺は全国でも有数の歴史ある林業地です。植栽、下草刈り、雪起こし、鹿被害防除ネット設置、宿場町として栄えた地域との交流を図ります。



「ごうぎん希望の森・千本ダムの里」



島根県松江市西忌部町 地内(1ha)

松江市の水源となっている千本ダムの上流に位置し、水源保全に重要な役割を果たす里山です。森林を覆い尽くした竹林の伐採、広葉樹等の植栽、下草刈り、地域の炭焼きグループと竹炭を作ったり、自治会との交流を目指します。



「ごうぎん希望の森・石見銀山」



島根県大田市大森町 地内(15.12ha)

世界遺産登録の石見銀山遺跡の周辺森林で世界遺産センターの南西側に位置し、観光客が多く訪れる場所です。不要木の伐採、植栽、遊歩道開設等、景観の維持の一端を担うとともに地域の人々と協働して「石見銀山遺跡」を守っていく活動を展開します。



「ごうぎん希望の森・奥大山」



鳥取県日野郡江府町助澤・俣野 地内(26.1ha)

北に秀峰大山、南に三平山を望み、俣野川ダムの上流に位置する重要な水源林です。植栽、間伐などの作業、森林と親しむレクリエーションの場としての森林づくりを目指します。

間伐材を利用したPR品



エコバッグ

ごうぎんチャレンジドまつえ

弊行では、知的障害者が専門的に就労する事業所「ごうぎんチャレンジドまつえ」を運営し、職員が芸術的能力を生かしながら、お客様のために心を込めて描いた絵をPR品にのせて、お客様にお渡ししております。



通帳ケース製作



通帳ケース製作

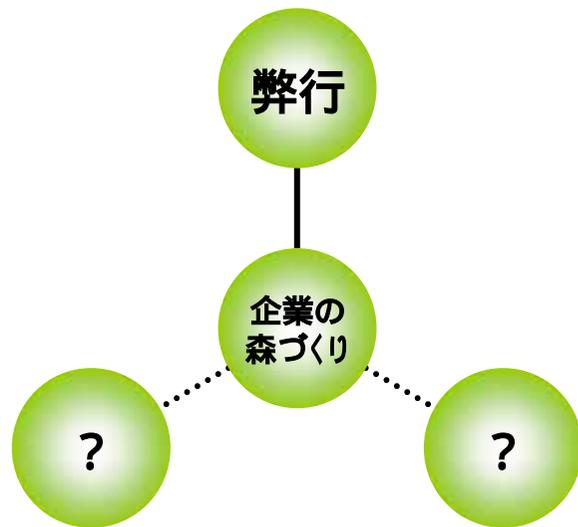


絵画制作

私たち活動の効果

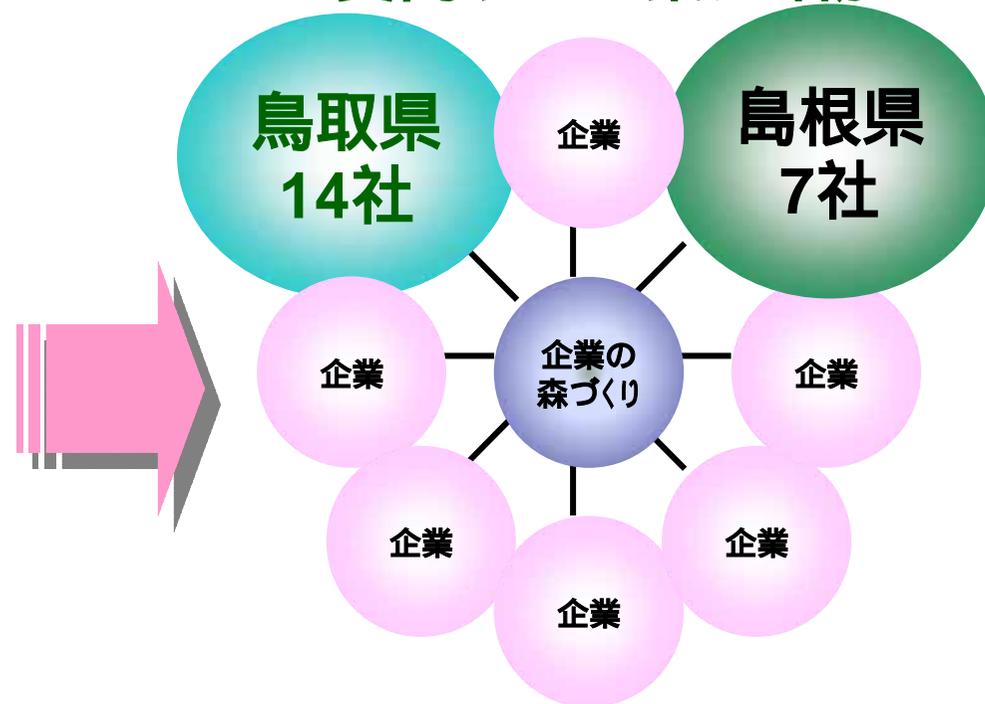
活動前

森を守ろう？何それ？



効果

みんなで森を守ろう！
賛同する企業が増加



2010年2月8日現在

4.地方銀行の新たな役割 ～日本中に広げよう～

「日本の森を守る地方銀行有志の会」

地方銀行各行が森林保全活動を通して、各々の地域の森(自然環境)を守る活動のネットワーク化を地方銀行主導で実現することにより、森林保全の大切さが国民に理解され、「日本の森を守る」活動に寄与するとともに大きなうねりを起こしていくことを目指しています。



「日本の森を守る地方銀行有志の会」イメージ図

全国運動への広がり 「日本の森を守る地方銀行有志の会」発足

2008年7月

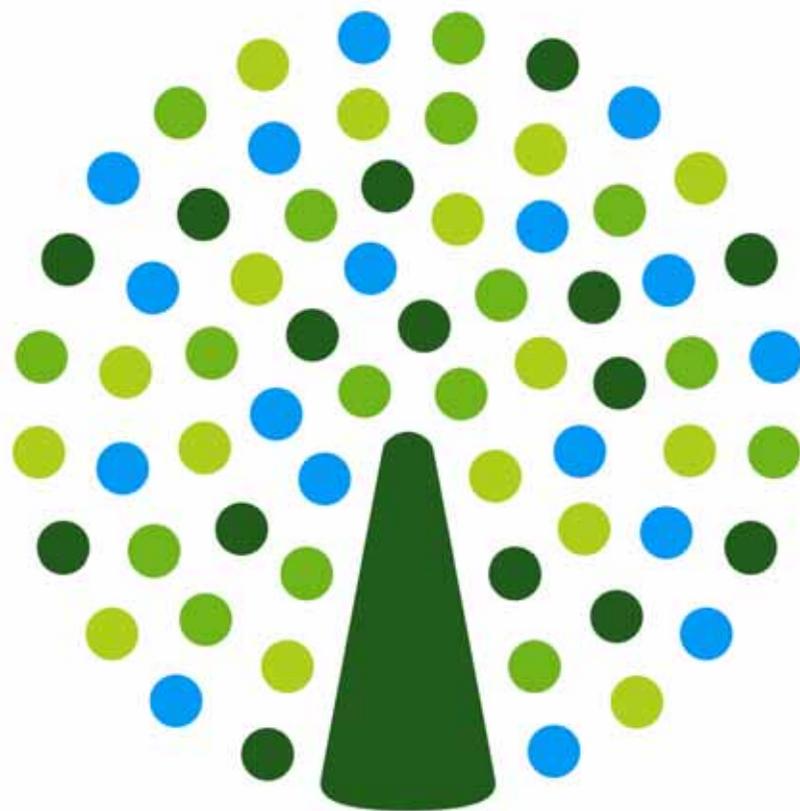
日本の森を守る地方銀行ネットワーク



- ・当行の古瀬頭取と京都銀行柏原頭取が発起人として会の設立をリード
- ・地方銀行の多くが美しい健全な森林を次世代に引き継いでいくことが使命であると認識
- ・各地域において森づくり活動を開始または準備
- ・各地域での活動が日本全体に広がり「日本の森を守る」活動の一助となるような活動を展開

~次世代へ美しい健全な自然を引き継ごう~
『日本の森を守る京都サミット』開催

平成21年12月4日



日本の森を守る
地方銀行有志の会
SAVE THE FOREST IN JAPAN

私たち「日本の森を守る地方銀行有志の会」は、美しい健全な森林を次世代に引き継いでいくことに貢献したいとの思いを具体的な行動へつなげていくために、「京都議定書」採択の地である京都において『日本の森を守る京都サミット』を開催いたしました。

世界文化遺産『糺の森』における記念植樹

於：下鴨神社

直会殿での会長挨拶



楼門前にて記念撮影



全64行代表者がモミジを7本植樹。
森林を守り・育み、後世へ受け継いでいく決意を新たに。

京都国際会館にてシンポジウム・分科会を開催



5つの分科会に分かれて、全64行の代表者が、それぞれの活動や想いを話し合いました。



京都議定書が採択された京都国際会館に約600名が集結し、盛大に開催されました。

全64行代表者による共同宣言



「日本の森を守る京都サミット」 ～ 次世代へ美しい健全な自然を引き継ごう～ 共同宣言 2009年12月4日

1. 「森林保全活動を中心としたネットワーク化」

環境保全の意識が高まるなか、私たち全国の地方銀行の森づくり活動をネットワーク化し日本の森を守る活動を支援していくと共に、地域のリーダーとして各地域における行政、NPO法人、ボランティア団体の活動等との連携を図ることにより、広がりのある森を守る活動の実現を目指します。

2. 「林業・木材産業再生等を中心とした地域の活性化」

地元の森林が荒廃しつつあるなか、森林資源を循環させていくため、私たち地方銀行が地域の林業・木材産業再生に向けて森林所有者・森林組合・木材を活かす企業等と相互に協力し、木材利用の促進など地域の活性化に繋げるための取組みを行います。

3. 「環境にやさしい金融商品づくり」

各地域の特性を活かした第一次産業の再生、環境関連ビジネスの育成及び地域の皆さまへの環境意識の醸成などのため地方銀行として環境にやさしい金融商品づくりを促進します。

4. 「次世代へ引き継ぐ緑化活動」

地方都市においても地球温暖化やオゾン層の破壊などの環境問題への取組みが求められており、温暖化防止、水質保全、生物多様性保全、災害予防など「緑」が有する多面的機能について啓発に努めると共に、緑化活動の推進を行います。

おわりに

“ハチドリのひとしずく”というアンデス地方の民話があります。
森が燃えていました。森の生きものたちは、われ先にと逃げていきました。でもクリキンディという名のハチドリだけは、いったりきたり口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは、火の上に落としていきます。
動物たちがそれを見て「そんなことをして、いったい何になるんだ」といって笑います。クリキンディはこう答えました。
「私は、私にできることをしているだけ」

私たちが現在取り組んでいる森林保全活動も同じように今、私たちにできることを、できる範囲で行動しています。
その輪をもっともっと広げ、やがて大きなチカラとして、ふるさとの森を守っていきたいと考えています。
失われつつあるふるさとへの「愛」と「この地で生きる誇り」に気付き、地域の活力や自立にもつながると強く信じています。
地域のみなさまのご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

豊かな緑を子どもたちの未来へ!



ご清聴ありがとうございました。

お問い合わせについて

1. 森林保全活動に関する事

山陰合同銀行 地域振興部 地域プロジェクト支援グループ

森林を守ろう！山陰ネットワーク会議事務局 tel 0852-55-1820

E-mail: mori@gogin.co.jp

2. ホームページのご紹介

山陰合同銀行

<http://www.gogin.co.jp>

森林を守ろう！山陰ネットワーク会議

<http://www.mori-sanin-net.jp>